

小学6年 **社 会** — 解答と解説

1

問1						
(1)	カ	ケ	(2)	4,500 (m)	(3)	イ
	21	22		23		24

問1				問2					
(4)	バ	リ	ア (フリー)	(1) I	○	II	○	III	×
				25	26		27		28

問2									
(2)	イ	(3)	ウ	(4) I	イ	III	ク	(5)	ク
	29		30		31		32		33

2

問1	問2	問3	問4		問5
ウ	ウ	イ	建	武 (の新政)	イ
	34	35	36	37	38

問6	問7								
エ	(1)	キ	リ	シ	タ	ン (大名)	(2)	南	蛮 (貿易)
							40		41

問8			問9				
(1)	イ	(2)	エ	(1)	太 閣 (検地)	(2)	エ
	42		43		44		45

(配点)

㊦問2 6点

㊦問3 6点

㊦問1 (1) 4点 (1つにつき2点)

上記以外 各2点 計100点

3

問1											
(1)	ア	(2)①	ウ	②	エ	(3)	ウ	(4)	イ	(5)	ア
	46		47		48		49		50		51

(例)	問2										
野菜の新鮮さを保つため。											
	52	53	54								

問3				問4		
(1)	扇	状	地	(2)	ア	エ
			55		56	57

4

問1			問2		
(1)	エ	(2)	イ	エ	
	58		59		60

(例)	問3					
隋と対等な関係を結ぼうとした。						
	61	62	63			

問4			問5		問6		問7		問8	
大	化	(の改新)	租	ア	ウ	エ				
		64	65	66	67					68

問9		問10	
エ	院	政	
	69		70

【解説】

①

問 1

(1) **B1** 置き換え 比較

カ：裁判所（△）ではなく、税務署の地図記号です。裁判所の地図記号は、かつて掟（きまりごと）や禁止事項などを箇条書きにして、道ばたや寺社の境内などに立てられた札（制札）の形からつくられました。

※1 税務署の地図記号（◇）は、計算するときに使われた「そろばんの玉」の形からつくられました。

※2 裁判所の「所」は、一般的に機関や施設を意味する場所（市役所、保健所など）に使われ、税務署の「署」は、官庁とその補助機関（国家機関の出先）に使われます（警察署や消防署など）。

ケ：保健所（⊕）ではなく、病院（⊕）の地図記号です。なお、保健所は全国に設置された公的機関で、地域住民の健康を支える活動を行っています。

(2) **B1** 置き換え

2万5千分の1の地図の1cmの実際の距離は250mですので、 250×18 で求めることができます。したがって、4500（m）が解答となります。

(3) **A2** 順序だてて筋道を捉える

災害時に携帯電話が使えなくなると、連絡手段が無くなる人は9割を超えてしまいます。また、地震や台風などによって通信障害や回線の混雑がおき、携帯電話が通じない事例も発生しています。そうした緊急時に役立つのが「公衆電話」ですので、使い方を理解しておきましょう。なお、最近、自宅や家族の電話番号は携帯電話に登録してあるので覚えていない、という人が増えているようですが、いざという時のためにそれらの電話番号をメモなどに書いて持つておくことをおすすめします。メモはなくさないでくださいね。

※1 全国の20歳以上の男女500人を対象に行われた調査（2022年）では、災害時に携帯電話などの通話機能が使えなくなった場合、家族との連絡手段が「ない」と答えた人の割合が95.6%に上りました。

※2 公衆電話は、最近では数が減っていますが、コンビニや公共施設に多く設置されていますので、設置場所を確認しておくといいでしょう。

(4) **A1** 知識

身体の不自由な人や高齢者などが日常生活を送るうえで支障となる障害物を取り除くことを「バリアフリー」といい、最近ではそうした人々への偏見をなくす「精神（心）のバリアフリー」も言われています。この問題の歩道橋のように、便利そうな施設でも、バリアフリーが行われていない例が多く見られます。最近では、歩道橋をとりこわし、横断歩道に変更するケースも増えています。

※ JR東日本は、2023年春から、首都圏の主要路線の普通運賃に10円、通勤定期料に1か月280円、3か月790円、6か月1420円を上乗せしました。上乗せした料金は、駅の段差解消やバリアフリートイレの設置などに充てられる予定となっています。また、JR東日本は、2021年度末の時点で92駅に設置されているホームドアを、2031年度末までに首都圏の主要路線の330駅に設置することとしています。

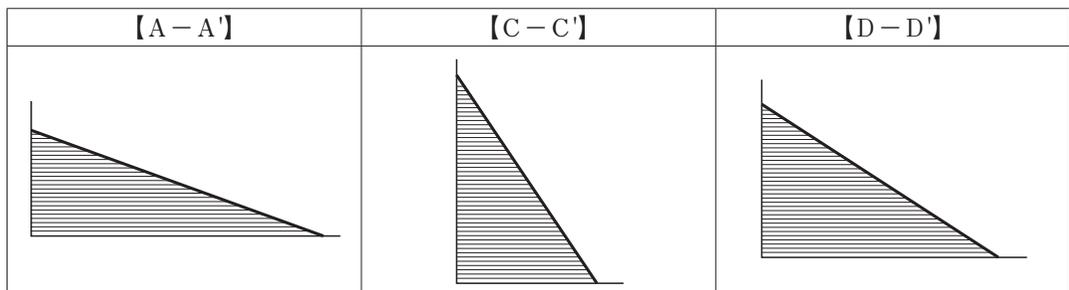
問2

(1) B1 具体・抽象 比較

- I：正しい内容です。A山の斜面の下の方は茶畑（☼）に利用されており、上の方は荒地（山）となっています。また、中腹には針葉樹林（△）に囲まれた寺院が位置しています。
- II：正しい内容です。B山の斜面の南側は果樹園（○）に利用されており、上の方には広葉樹林（□）、東側には針葉樹林がみられます。また、中腹には、針葉樹林に囲まれた神社が位置しています。
- III：C山の頂上にある「灯台（地図記号：☼）」が誤っています。頂上にあるのは「（風力発電用の）風車」です。灯台は港口や岬などに築かれ、夜は光を放って船舶に航路を教える設備ですので、このような街中の山頂に設置されることはありません。

(2) B1 置き換え 比較

「上の方は急斜面、中ほどは緩斜面、下方は急斜面」ですので、「B-B'」であることがわかります。A-A'は「緩やかな斜面」、C-C'は「急斜面」、D-D'は「急斜面と緩斜面のあいだ」となっています（下図）。



(3) A2 比較

川の水や地下水などを飲料水にする施設を「浄水場」といいます。東京都では、水の濁りなどを取り除く「沈殿」→細かい濁りをこし取る「濾過」→薬品を使った「消毒」が、主な流れとなっています。

※アはダム、イは森林、エは下水処理場を、それぞれ説明しています。

(4) B1 具体・抽象 比較

等高線の理解を確認する問題です。

I : 寺院は標高180～190mのあいだ(仮に、185mとします)、城^{しろ}あとは260～270mのあいだ(265mとします)、神社は210～220mのあいだ(215mとします)、記念碑^{きねんひ}は240～250mのあいだ(245mとします)に位置していることがわかるので、標高がもっとも高いのは「城^{しろ}あと」となります。

※もっとも低い **II** にあてはまるのは、「寺院」となります。

III : 城^{しろ}あとは265m、寺院は185mですので、標高の差は80mとなります。

(5) **B1** 置き換え 比較

手前に空き地、中央にグラウンド、奥^{おく}に野球場があるので、解答は「ク」と判断できます。カは手前が野球場、キは左手にグラウンド、右手に野球場、ケは手前の街並^{まちな}みの奥の右手にグラウンドと野球場が見えることとなります。

2

問1 **B1** 置き換え 比較

源頼朝^{みなもとよりとも}は、源氏ゆかりの地であること(父・義朝^{よしまと}の館^{たね}があった、など)や三方を山に囲まれ、南側が海に面している地形^せ(攻められにくく、守りやすい)という理由から、鎌倉^{かまくら}を根拠地^{こんきょち}に定めました。なお、地図のアは川崎^{かわさき}、イは横浜^{よこはま}、エは小田原^{せうだわら}です。

問2 **A2** 比較

壬申^{じんしん}の乱^{らん}は672年、天智天皇^{てんじてんのう}(中大兄皇子^{なかのおえのおうじ})が亡くなった後のあと^つ継ぎをめぐって行われました(→④)の年表中、672年の項目の「乱」が壬申の乱です。天智天皇の子の^お大友皇子^{おおとものおうじ}(後の弘文天皇)と天智天皇の弟の^お大海人皇子^{おほあまの}のあいだで行われ、勝利した大海人皇子は翌年即位して天武天皇となりました(皇后^{こうごう}が、後の持統天皇^{じとう}です)。

※1 後鳥羽上皇^{ごとびうじこう}が2代執権^{しっけん}の北条義時^{きたじょうよしま}(北条時政の子、源頼朝の妻・北条政子の弟)を討とうとしておこしたのは「承久^{じやうきう}の乱」です。

※2 承久の乱がおこったとき、御家人^{ごおん}たちは「朝敵^{ちやうてい}(朝廷の敵)」となったことで動揺^{どうよう}しましたが、北条政子が「いまこそ、頼朝^{どの}の御恩^{ごおん}に報^{むく}いるときなのです」という内容の演説^{えんせつ}を行い、これに胸^{むね}を打たれた御家人^{ごおん}たちが発憤^{はつぶん}した、といわれています。

問3 **A1** 比較

親鸞^{しんらん}が開いた浄土真宗^{じやうどしんしゆ}(一向宗、真宗)を信仰^{しんこう}する人々が、室町時代の1488年、現在の石川県で「加賀の一向一揆^{いっこういっぎ}」をおこしました。20万人の一向宗信者が守護^{しゆご}の富樫氏^{とがし}を滅ぼし、以後約100年近く、加賀国を統治^{とらひ}しました。

※アの栄西^{えいさい}は臨濟宗^{りんざい}、ウの道元^{どうげん}は曹洞宗^{そうとう}、エの法然^{ほうねん}は浄土宗^{じやうど}を、それぞれ開きました。

問4 **A1** 知識

建武の新政^{けんぶしんせいせい}は、1334～36年にかけて、鎌倉幕府^{かまくらぼくふ}を倒した^{たお}後醍醐天皇^{ごだいご}が直接政治^{じきせいち}を行った期間^{きかん}をいいます。天皇を中心とする律令政治^{りつりやう}を目指しましたが、貴族^{きぞく}の利益の保護^{ほご}を強くしたため武士階級^{ぶしかい}から不満^{いふだ}を抱かれ、新政^{しんせい}は崩壊^{ほうかい}しました。

※後醍醐天皇は足利尊氏に京都を追われ、奈良県の吉野に逃れました。尊氏は京都で新たな天皇（光明天皇）を即位させたため、京都（北）と吉野（南）に天皇が二人いる（朝廷が2つある）「南北朝時代」となりました。なお、南北朝は、1392年、足利義満によって合一されました。

問5 A2 具体・抽象 比較

室町幕府3代将軍の足利義満が中国（明）とのあいだで始めた貿易（日明貿易）は、「勘合（勘合符）」という合札を用いて行われたので「勘合貿易」とも呼ばれています。このころ、朝鮮半島や中国大陸沿岸地域を「倭寇」と呼ばれる海賊集団が荒らしていたので、倭寇と幕府の正式な貿易船とを区別するために、合札が用いられました。

※1 勘合貿易は1404年から始められ、日本は銅銭（明銭：永楽通宝）や生糸、絹織物などを輸入し、日本からは銅や硫黄（火薬の原料）、刀剣などが輸出されました。

※2 ア：二度にわたって中国軍（元軍）が北九州に攻めてきたのは鎌倉時代の1274年（文永の役）と1281年（弘安の役→問9(2)）で、このときは将軍ではなく「執権（8代執権・北条時宗）」でした。

ウ：応仁の乱は1467年、8代将軍・足利義政のときにおこりました。乱は11年間も続き、京都は焼け野原となってしまいましたが、このとき都を逃げ出した公家などによって、京都の文化が地方にも伝えられました。なお、この乱の後、室町幕府の権限は弱まり、戦国時代へと入っていきました。

エ：東山に銀閣を建立したのは、足利義政です。応仁の乱のさなかの1473年、子の義尚に将軍職をゆづった義政は83年に銀閣を建立して移り住み、戦乱をよそに茶の湯や絵画などにふけた、といわれています。

問6 A2 比較

雪舟は現在の岡山県の出身で、京都の寺で修行したのち中国（明）にわたって画法を学び、帰国後は独自の山水画（水墨画）を大成しました。

※アは鎌倉時代に活躍した運慶・快慶（運慶の弟子、または運慶の父の弟子）、イは室町時代の観阿弥・世阿弥父子（足利義満が能を保護しました）、ウは安土桃山時代に活躍した千利休です。

問7

(1) A1 知識

キリスト教を信仰したキリシタン大名として、九州の大村純忠や大友義鎮（宗麟）、有馬晴信、近畿の高山右近、小西行長らがいます。大村純忠らは伊東マンショ、原マルチノなど4人の少年をイタリアのローマ教皇のもとに派遣（キリスト教を広める援助をしてもらうため）したことで知られています（天正遣欧使節）。キリスト教は、仏教勢力に対抗するために織田信長は布教を認め、豊臣秀吉も最初は認めましたが、1587年の九州征伐のとき、急に「バテレン（宣教師）追放令」を出しました。理由は、長崎がキリスト教会の領地になっていたこと、日本人が奴隷として売られていたこと、などがあげられていますが、詳しいことはわかっていません。

(2) **A1** 知識

16世紀半ばから約100年間行われたポルトガルやスペインとの貿易を、ポルトガル人やスペイン人を「南蛮人」と呼んだことから「南蛮貿易」といいます。ポルトガルが貿易の中心で、九州の平戸や長崎、府内（現在の大分）が港町として栄えました。

※ポルトガルは中国のマカオを根拠地として中継貿易を行い、スペインはフィリピンのマニラを根拠地として貿易とキリスト教の布教を行いました。

問8

(1) **B1** 置き換え 比較

1石は150kgですので、12石で1800kgとなります（ 150×12 ）。これを360日で割ると1日あたり5kgとなり（ $1800 \div 360$ ）、1kgが300円ですので、1500円が解答となります（ 5×300 ）。

※福井県に残されている古文書には「年に米12石6斗（約1890kg）」とあり、1日あたり5kgほどの米が支給されていたことがわかります。十分そうに思えますが、これを貨幣に両替し、衣類なども購入しなければならないので、生活は楽ではなかったようです。

(2) **A1** 比較

長篠の戦い（長篠・設楽原の戦い）は、織田信長・徳川家康連合軍と武田信玄の子・勝頼の戦いで、連合軍は新兵器である3000挺の鉄砲で装備した歩兵隊を用い、武田方の伝統ある騎馬隊に壊滅的な打撃を与えたことで知られています（屏風の左側が織田・徳川連合軍、右側が武田軍です）。武田氏はこの戦いののち衰え、1582年の「天目山の戦い」で滅亡したといわれています。

※アの「桶狭間の戦い」は1560年に行われた織田信長と今川義元の戦い、イの「川中島の戦い」は1553年から64年にかけて5回にわたって行われた武田信玄と上杉謙信の戦い、ウの「壇ノ浦の戦い」は1185年に行われた源氏と平氏の最後の戦いです（源頼朝の弟・義経が活躍しました）。

問9

(1) **A1** 知識

豊臣秀吉は1582年、山城国（現・京都府南部）で土地の調査（検地）を行って以後、平定した領地に役人を派遣し、土地の面積や収穫高、田畑の質、土地の耕作者などを「検地帳」に記入させました。これが「太閤検地」と呼ばれる政策で、土地の耕作者を納税責任者とししました（一地一作人）。この政策によって古代から続いてきた「荘園制」は完全に崩壊し、地主（大名）による土地支配が行われるようになりました。大名は財政が安定するとともに農民を土地にしばりつけることができるようになり、兵農分離が進むことになりました。

※この政策は元号から「天正の石直し」と呼ばれています。

(2) **A2** 比較

豊臣秀吉の行った朝鮮出兵は、1592年の「文禄の役」と1597年の「慶長の役」をいいます。明の征服を企んだ秀吉は朝鮮に道案内を求めましたが、断られたため、朝鮮に出兵しました。この出兵によって日本に連れてこられた朝鮮人の陶工により、有田焼や薩摩焼などが、各地でつくられる

ようになりました。

※「文永の役」と「弘安の役」は、鎌倉時代の「元寇（蒙古襲来）」の名です（→問5・選択肢「ア」）。

③

Aは北海道帯広市、Bは新潟県上越市、Cは香川県高松市、Dは高知県高知市、Eは長野県の野辺山原、Fは山梨県甲府市、Gは沖縄県那覇市です。

問1

(1) B1 具体・抽象 比較

やませは、初夏のころ東北地方太平洋側に吹く冷涼湿潤な北東風をいい、稲作などに被害をもたらす「冷害の原因」となります。帯広市の位置する十勝平野など北海道南東部では、夏季の濃霧が発生することがありますが、それは沖合を流れる暖流（日本海流：黒潮）上の湿った空気を夏の南東季節風が運び、寒流（千島海流：親潮）上を通るときに冷やされることによります。よって、「やませと呼ばれる南東風」が誤りです。

(2) ① B1 具体・抽象 比較

同じ耕地で同じ作物を毎年つくる「連作（選択肢「エ」）」を行うと、栄養がかたよることなどによって収穫量が年々減少する「連作障害」がおこることがあるので、毎年つくる作物を変える「輪作」が行われるようになりました。

※アの単作は耕地に1種類だけの作物をつくることをいい（例：北陸地方の米栽培）、イの転作は今まで栽培していた作物をやめて他の作物を栽培することをいいます。



(2) ② B1 置き換え 比較

エは小麦（→右の写真）ではなく、稲の写真です。

※アはじゃがいも（馬鈴薯）、イは甜菜（砂糖大根）、ウは大豆（若いときに枝豆）の写真です。

(3) B1 置き換え 比較

写真のような、地下水を流して道路の雪をとかす設備を「消雪パイプ」といいます。また、雪おろしや雪かきで出た雪は、道路の端につくられた「流雪溝（選択肢「エ」）」に捨てられます。

※アの「暗きよ（渠）排水」は、地下に埋めた土管などを通して余分な水を取り除く設備（新潟県の越後平野などにみられます）、イのクリークは、低湿地の耕地につくられた排水や灌漑用の水路をいいます（九州の筑紫平野（筑後川下流域）や利根川の下流域にみられます）。

(4) B1 具体・抽象 比較

香川県の讃岐平野では、少雨による水不足（干害）を防ぐため、以前は「満濃池（空海が修築したと伝えられています）」などの「ため池」が多くつくられました。よって、地図中にため池（田

村池や先代池など)が多くみられる「イ」が正解となります。

※1 現在は、高知県～徳島県を流れる吉野川(「四国三郎」とも呼ばれています)から水を引く「香川用水」も利用されています。

※2 ため池は讃岐平野をはじめ、瀬戸内地方(岡山県南部や兵庫県南部)、奈良県北部などにもみられます。

※3 ア:鹿児島県のシラス台地の一部「笠野原」の地図です。大隅半島の中部にあり、政府による灌漑事業が行われた結果、茶や野菜などの栽培のほか、肉牛や豚などの畜産もさかんになりました。

ウ:北海道の十勝平野に位置する帯広市の地図です(→A)。土地を区分するように防風林がみられ、畑作が行われていることがわかります。

エ:静岡県の大井川下流に位置する、牧之原台地の地図です。牧之原は明治時代初期に開拓され、日本を代表する茶園地帯となりました。

(5) **B1** 具体・抽象 比較

イ:高知平野では、なすやピーマン、きゅうりなど、実を食べる野菜(夏野菜)が多くつくられています。

ウ:野菜の促成栽培は、九州の宮崎平野などでも行われています。なお、宮崎平野も、以前は米の二期作が行われていました。

エ:高知平野で収穫された野菜は、主にフェリー(トラックごと運送できる船)や、本州と四国を結ぶ橋(本州・四国連絡橋:「瀬戸大橋」など)を利用したトラックで輸送されています。

問2 **B2** 視点を変える 理由 推論

コールドチェーン(コールドシステム、低温流通機構)は、生鮮食料品や冷凍・冷蔵品などを冷凍・冷蔵装置を取り付けた交通機関を利用して、低温のまま生産地から消費地へ輸送する仕組みをいいます。野辺山原などで収穫された野菜(高原野菜)は傷みやすいので、新鮮さをたもつため、この方法で輸送されています。

※野辺山原などの高地では、夏でも冷涼な気候を利用してレタスやキャベツ、ハクサイなどの「高原野菜」を栽培する「高冷地農業」が行われており、コールドチェーンで出荷されています。浅間山の北に位置する群馬県の嬬恋村は、キャベツ(高原キャベツ)の生産地として知られています。

問3

(1) **A1** 知識

川が山から平地へ出るとき、流れが急にゆるやかになり、土砂の運搬力が減って堆積するようになります(→理科で学習します)。この作用から、谷の出口を頂点として、扇(扇子)を広げたような形をした「扇状地」が形成されます。

※河口付近では、同じような作用によって「三角州(デルタ)」が形成されます。

(2) B1 特徴的な部分に注目する 置き換え 比較

水はけの良い扇状地は、以前はくわ畑（蚕のえさ：地図記号「Y」）に利用されてきましたが、現在は果樹園（くだもの畑）に多く利用されています。甲府盆地はぶどうとももの生産で知られ、山梨県はともに日本一の生産量を誇っています。

※イのみかんは、和歌山県、静岡県、愛媛県の順、ウのももは、山梨県、福島県、長野県の順、エのりんごは、青森県、長野県、岩手県の順となっています（2020年産）。

問4 B1 特徴的な部分に注目する 具体・抽象 比較

沖縄県の西側には「東シナ海」が広がっており（「日本海」が誤りです）、ここに位置する尖閣諸島は、中国とのあいだで領有問題が発生しています（したがって「韓国とのあいだ」も誤りです）。※韓国とのあいだでは、島根県の「竹島」の領有をめぐる問題が発生しています。

4

問1

(1) A2 比較

ア：旧石器時代（無土器時代・先土器時代）の内容です。縄文時代はマンモスなどの大型の動物はおらず、小さくてすばしい小動物が増えたので、それらを狩るため「弓矢」が使われました。

イ：弥生時代の内容です。中国大陸や朝鮮半島などから稲作と金属器（鉄器や青銅器）がもたらされ、稲作は指導者の誕生（ムラの中心）をうながし、金属器は貧富の差につながった、と考えられています。

ウ：旧石器時代の内容です。

※2021年、人々が採集や漁労（魚つり）、狩猟で食料を得ながら定住を確立した経過をあらわしているとして、北海道、青森県、岩手県、秋田県の17の遺跡が世界文化遺産に登録されました（北海道・北東北の縄文遺跡群）。北海道の北黄金貝塚、青森県の三内丸山遺跡、秋田県の大湯環状列石などがあります。

(2) A2 分類

青森市に位置する三内丸山遺跡は縄文時代中期の遺跡で、大規模な集落跡や板状土偶などが発見されたことで知られています。

※アの岩宿遺跡（群馬県）は旧石器時代、ウの登呂遺跡（静岡県）とエの吉野ヶ里遺跡（佐賀県）は、ともに弥生時代の遺跡です。

問2 A2 比較

埼玉県行田市の埼玉古墳群の一つ、稲荷山古墳から出土した鉄剣には115字が刻まれており、471年と考えられる干支や、雄略天皇（倭王「武」にあたる考えられています）とみられる「ワカタケル大王」の名が読み取れることで知られています。ヤマト政権の東国支配を知る上で、貴重な資料となっています。

- ※ア：奈良県明日香村の高松塚古墳（「大宝律令」の制定にかかわった刑部親王の墓と推定されています）やキトラ古墳が、壁画で知られています。
- イ：日本最大の前方後円墳は、大阪府堺市に位置する「大山古墳（仁徳天皇陵古墳）」です。
- ウ：盛土がなくなり石室が露出しているのは奈良県明日香村にある「石舞台古墳」で、蘇我馬子の墓といわれています。

問3 B2 視点を定める 理由 推論

遣隋使は、隋の進んだ制度や文化を取り入れる目的の他、対等な外交関係を結ぼうとした目的もあった、と考えられています。それまでの日本は中国に貢ぎ物を持って行き、身分をあらわす称号を与えられたり、中国に従うような外交を続けてきました。この史料（隋書・倭国伝）から、「対等外交を求めるような表現がある」ことを読み解きましょう。隋の皇帝（煬帝）は「天子は、世界で自分一人だけである」と考えていたため、この国書を見て「無礼である」と、不機嫌になった、とみられています。

問4 A1 知識

中大兄皇子（後の天智天皇：大兄とは、長男をさします）と中臣鎌足らが蘇我入鹿を殺害して蘇我氏を滅ぼした「乙巳の変」後、中大兄皇子を中心として行われた、645年に始まる政治改革を、最初に定められた元号から「大化の改新」といいます。

- ※1 新しい政治の方針は翌646年に出された「改新の詔」に示されており、土地と人民を国家のものとする「公地公民制」や国・郡・里の地方行政機構の確立、口分田を支給する「班田収授法」の実施、「租（→問5）・庸・調」などの税制の確立などを内容としていました。
- ※2 2019年から使われ始めた「令和」は、248番目の元号となります。

問5 A1 知識

口分田は6年ごとに作成される「戸籍」をもとに、6歳以上の男女に支給されました。口分田を支給された農民（男女とも）は、収穫量の約3%にあたる稲を地方の役所に納める税の「租」が課せられ、役所はこれを地方の財政に使用しました。

※男性には、都で10日間働く代わりに中央政府に布などを納める「庸」、各地の特産物を中央政府に納める「調」といった税も課せられたほか、1年に60日間国司のもとで労働させられた「雑徭」、東国の兵士が当てられた3年間北九州の守りにつく「防人」などの負担がありました。

問6 A2 比較

聖武天皇のころを中心として栄えたのは「天平文化」です。律令国家の繁栄と唐の文化の影響を強く受けたこの文化は貴族を中心としており、全国に国分寺が建てられたことや東大寺の大仏が造立されたこともあって、仏教色の濃い内容となっています。

- ※1 「シルクロード（絹の道）の終着点」といわれている正倉院には、ギリシャやペルシャ、インドなどの影響を受けた品が数多く収納されています。

※2 飛鳥文化は厩戸皇子（聖徳太子）のころを中心とした文化をいい、法隆寺（世界最古の木造建築といわれ、世界文化遺産に登録されています）などが建立されました。

問7 **A2** **比較**

空海（弘法大師）は讃岐国（香川県）の出身で、804年に唐にわたって密教を学び、帰国後、真言宗を確立しました。和歌山県の高野山に金剛峯寺を建立したほか、嵯峨天皇から京都の「東寺（日本で最も高い五重塔があります）」を与えられました。また、満濃池を修築したり、庶民の教育機関をつくったことでも知られています。

問8 **A2** **順序立てて筋道をとらえる** **比較**

988年に起こされた31か条にわたるこの訴えにより、国司の藤原元命は990年に解任されました。
 ※ア：室町時代の1428年におこった「正長の土一揆」を説明しています。
 イ：鎌倉時代の1275年に和歌山県の高野山領の荘園（阿氏河荘）の農民たちが、地頭（湯浅氏）の悪政を荘園領主に訴えた出来事を述べています。
 ウ：下剋上（下克上）の風潮が広まったのは、戦国時代のことです。なお、室町時代の1441年、6代将軍の足利義教が守護に殺害される事件（嘉吉の乱）が起きました。

問9 **A2** **比較**

清少納言（本名はわかりません。歌人・清原元輔の娘）は一条天皇の中宮（きさき）・定子に仕え、随筆の「枕草子」をあらわしました。
 ※「源氏物語」の作者は、一条天皇の中宮・彰子（藤原道長の娘）に仕えた紫式部（本名はわかりません。和歌や詩歌に優れていた藤原為時の娘）です。

問10 **A1** **知識**

「院」とは上皇・法皇の別称をいい、天皇の地位を譲った上皇が「院庁」という役所で政治を行ったことから、この政治形態を「院政」といいます。
 ※院政は1086年に始まり、1221年の後鳥羽上皇（「承久の乱」をおこした人物→②・問2）まで続きましたが、承久の乱以後は、政治的な実権を失いました。

(記述問題の採点について)
 ・明らかな誤字・脱字がある場合…-1点

